

みんなの
疑問①

原発はCO₂を出さない発電なので
地球環境にやさしい？



いいえ。

放射性廃棄物を

出す原発は、地球環境に

やさしくありません。



原子力発電を行うと

放射性物質が発生し、

最後には処分の難しい

放射線廃棄物が残ります。

強い放射線は生命にとって

遺伝子レベルで危険なものです。

30年以内の震度6弱以上の
地震発生確率

茨城県沖
約80%



引用元：全国地震動予測地図 2020年版
(政府地震調査研究推進本部)

原発から
放射性物質がもれる
事故が起きると、
取り返しのつかない
放射能汚染と
長期間にわたる
「避難」が
必要になります。

2011年3月の
東日本大震災と
福島原発事故を
忘れては
いけません。



脱原発ネットワーク茨城

<https://nonukes-ibaraki.jimdo.com>

チラシ配布や広報にご協力いただける方を募集中

メール / nonukes.ibaraki@gmail.com

電話 / 共同代表：江口 (090-9299-3783) 小川 (090-5548-3078) 永井 (070-5079-6308)

みんなの 43年前に運転開始した
疑問② 茨城県東海第二原発の今はどうなっている？



「ただ今、工事期間中です。工事の中には、核燃料をいれた試運転もあり、その前には周辺自治体と県の合意が必要です。」

予定
2024年9月

工事終了後に
 営業運転開始

2018年11月

「原則40年で廃炉」
 だけど国の原子力
 規制委員会は運転
 延長を許可

2019年2月

運営会社「日本
 原電」は再稼働
 の意向表明

2020年5月

再稼働にむけて工事中
 使用前検査がスタート

2022年2月

工事1年半
 延期を表明

周辺自治体と茨城
 県の合意(事前了解)

工事期間中に核燃
 料を入れた試運転

「無理」が
 ありすぎな
 避難計画
 から考えて

「再稼働しない」判断を試運転の前に
 県知事や市町村長、議会に求めましょう！

NO!

2021年3月
 水戸地裁の判決は

☑️ 避難計画の実効性
 に問題あり

☑️ 東海第二原発を運転
 してはならない

国は、原発の再稼働の前提として、
 30km圏内の自治体に「避難計画」の作成を求めています…

- 94万人(原発から30km圏)の住民の避難!?
- 避難所の感染症対策は?
- 避難後の生活の立て直しできるの?
- 複合災害も心配:高レベル放射性廃液を貯蔵する
 再処理施設が原発のすぐ隣に
- 30km圏外の住民には、そもそも避難計画がない?
- 地震が起きても「屋内退避」?
- 地震で道路や橋が壊れたり渋滞したり…避難できる?!



再稼働の事前了解権
 を持つ自治体

- 茨城県
- 東海村(原発立地)
- 水戸市
- ひたちなか市
- 那珂市
- 常陸太田市
- 日立市

(2018年3月新安全協定より)

避難計画はすべての茨城県民に関わります。
 事前了解権を持たない自治体からも問い続けましょう。

みんなの
疑問③



東海第二原発は「再稼働する?」

東日本大震災で被災、10年以上停止したままの原発が問題なく動くだろうか?
 今では使えない非難燃性ケーブル(燃えやすい電線)が工事後も原発内に残っていたり…

「再稼働には地元合意が必要です。『本来は』避難計画が無理なうちは再稼働できません。
 しかし…工事はどんどん進んでいます…」